

木更津市議会 らしんばん 会派 羅針盤



会派報 第6号

平成29年1月3日

発行責任者：木更津市議会 会派羅針盤

代表 斉藤 高根

連絡先：木更津市 議会事務局

〒292-8501 木更津市富士見 1-2-1

TEL: 0438-23-7185



あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願い申し上げます

浜田靖一代議士と
議員会館にて意見交換
(平成28年10月31日)



渡辺芳邦市長へ要望書提出
(平成28年9月26日)

私達が取組んでいる事

- ★ 議会を変えます
(議会改革)
- ★ 行政を変えます
(行政改革)
- ★ 木更津を変えます
(木更津活性化)

市民の皆さまの声を市・国に確かにお伝えできました。

会派羅針盤は本市議会の最大会派です。同じ会派に属する6名の議員はそれぞれ得意な分野があり、それらを集めると多岐に渡る改善提案型の議会質問や要望を行うことができると自負しています。本市がより良い方向に向かうよう、6名が持つ市・県・国への太いパイプや人脈を大いに利用させて頂き、皆さまのための実を取りに行けるよう、本年も精一杯活動を続けてまいります。

尚、公職選挙法により議員各個人の時候の挨拶は禁止されておりますので、本会派報を新年のご挨拶に代えさせていただきますこと、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



羅針盤・一年の航跡

主な活動
質問項目

個人質問

6人だからできた、多方面からの質問の一部です。生活に直結する質問であると感じていただければ幸いです。質問の詳細や質問に対する答弁はインターネットや公民館等にある議事録により確認もできます。どうぞ、会派羅針盤が皆様のそばにあることを感じてください。

1. 教育行政・学校・保育園等子どもに関する質問

・小中学校の適正規模と適正配置について・小規模校について・児童養護について・家庭教育の在り方について・二中学区の児童推移について・中郷小中学校について・外部機関との授業連携について・バス通学児童について・施設更新計画の立案・光熱水費の削減施策・冷暖房設備の充実策・君津中央病院の時間外療養費について・チャイルドシートの助成について・学校給食について・子育て支援の現状と課題について・子育て支援に関するセンター開設について・子育て支援の充実について

2. 公民館等生涯教育施設に関する質問

・公民館の運営について・(仮称)金田地域交流センターについて・図書館について・博物館について

3. 経済に関する質問

・「農村部の移住・定住の促進」について・農業の今後について・捕獲動物処理について・被害対策について・観光行政について・産業・創業支援センターについて・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について・地方創生交付金事業について・ふるさと応援寄附金事業について・江川海岸の観光対策・大型商業施設の進出(大型商業施設の波及効果・経済の活性化・交通量の増大)について

4. 広域行政に関する質問

・君津地域広域廃棄物処理事業について・火葬場の侵入経路について・水道事業の統合広域化について

5. 安全安心な街づくりに関する質問

・LED防犯灯整備事業について・防犯活動について・オスプレイ関係(整備拠点化・交付金の性質・地域的な負担)について・道を照らす灯りに関して・災害に強いまちづくりについて

6. 健康増進に関する質問

・市民の健康維持のために・健康マイレージ事業について・健診室について・糖尿病の予防と対策について・市民の健康面の課題について・木更津市の子どもたちの体力増進について・木更津市の体力づくりイベントについて

7. 障害者福祉施策に関する質問

・就労支援施設について・あけぼの園について・身体障害者福祉センターについて・障害者への理解の取り組みについて

8. 高齢者福祉施策に関する質問

・予防施策の展開・支援制度の現状・成年後見支援センターについて

9. 市民活動支援に関する質問

・市民活動支援センターについて

10. 市役所等の土地建物と職員及び組織に関する質問

・旧学校予定地について・江川運動場周辺の活性化について・調整区域での市街化・新庁舎について・区画整理(千束台・金田西)について・職員について・組織について・市庁舎整備について・「教育・文教施設」の再配置について・あづま交通公園の有効利用について

11. 金田バスターミナルに関する質問

・報道について・各方面の乗り入れについて・ハブ化について・高速バスによる活性化(道路の現状・運用の目途・将来の希望)について

12. ちばアクアラインマラソン等スポーツイベントに関する質問

・アクアラインマラソン(地元優先枠・周知の方法)について・第1回木更津トライアスロン大会について・東京オリンピックパラリンピック誘致について・スポーツイベントの成果と課題について

13. 収税に関する質問

・国民健康保険制度について

14. 人口増進に関する質問

・きさらび未来活力創造プランについて・「木更津っ子を育むまち」について・「にぎわいが循環するまち」について

15. 消防行政について

・機能別消防団の進捗について

要望書 要旨

平成 29 年度における行財政運営に関する要望書を
渡辺市長に提出を致しました。

要望 1 財政健全化について

- (1) 大胆な行政改革を進め、行政サービスを維持しながら歳出の削減を進めること

要望 2 交通インフラの有効活用について

- (1) 東京オリンピックを前提とした木更津飛行場の官民共同利用を研究すること
- (2) 木更津港のクルーズ船寄港を念頭に置いた施設整備と海の駅を有効活用すること
- (3) J R 内房線巖根駅のバリアフリー化と全快速列車の停止を実現すること
- (4) アクアラインバスの木更津～金田間に新たな駐車場を設置すること

要望 3 江川総合運動場の整備・活用について

- (1) 江川総合運動場を早期に整備すること

要望 4 福祉施策の更なる推進について

- (1) 待機児童の解消及び高齢者福祉施策の充実を図ること

要望 5 子育て支援の充実について

- (1) 子ども成長支援センターを早期開設すること

要望 6 小中学校の教育環境早期整備について

- (1) 小中学校の教室へエアコンを早期に整備すること

要望 7 道路整備について

- (1) 都市計画道路 中野畑沢線について
- (2) 都市計画道路 中里曾根線について

要望 8 土地利用計画の見直しについて

- (1) 市街化調整区域除外申請要項の緩和を千葉県へ要望すること

代表質問



1. これからの予算編成について

- (1) 歳入について
- (2) 歳出について

2. 指定管理者制度について

- (1) れまでの指定管理者制度について
- (2) 今後の指定管理者制度について

3. 木更津金田バスターミナルについて

- (1) ターミナル利用状況について
- (2) 施設について

4. 金田西地区区画整理について

- (1) 売り出し区画について

5. 農林水産業について

- (1) 農業について
- (2) 漁業について

6. 市長の政治姿勢について

- (1) 平成 28 年度の市政運営について
- (2) 平成 28 年度当初予算(案)について

7. 市庁舎の分散移転の検証について

- (1) 分散の意見について
- (2) 不測の事態時について

8. 火葬場について

- (1) これまでの経緯について
- (2) これからの課題について

9. インフラ整備について

- (1) 金田総合高速バスターミナルについて
- (2) 道路整備について
- (3) 中野畑沢線について

10. 教育行政について

- (1) 教育振興基本計画について
- (2) 中郷小中学校について

11. これからの消防について

- (1) 消防団の課題について

12. 水道事業について

- (1) 水道事業の統合広域化について

13. 地域社会の変化と福祉課題

- (1) 高齢者のニーズの広がりへの対応について

14. 農業振興地域の指定のあり方について

- (1) 農業振興地域の問題について
- (2) 農業振興地域の土地活用について

15. 財政運営について

- (1) 財政状況について
- (2) 市債について
- (3) プライマリーバランスについて
- (4) 市税収入の見通しについて

16. 君津中央病院について

- (1) 子供の夜間診療について

17. アクアライン連絡道下について

- (1) 現状について

18. 木更津市公設市場について

- (1) 運営について
- (2) 建物について

19. 木更津市の産業について

- (1) 全体の産業について
- (2) 農林水産関係について

20. 自然環境の保全について

- (1) 小櫃川河口干潟について



石 井 徳 亮

教育民生常任委員会・地方創生委員会
議会広報委員会

市議会議員となってまだ経験は少ないですが、木更津を含めたこの地域をもっと住みやすくしたいと言う気持ちは以前と変わらず強く思っています。地域の状況が変わりつつある現在、その対応が急務となっており、その中でも今すぐに対応すべき事と、10年後・20年後を見据えた対応が必要である事に分かります。今は正しいと判断される事が、近い将来には正しく無いと判断される事も有るかも知れません。子どもたちが大きくなって、この木更津に住む・勤めると言った、当たり前前の事が当たり前になるよう、改めての「まちづくり」が必要になっていると考えます。いつの時代にも正しい判断、正しい方向に向けての活動が出来るように、皆さんと一緒に考え、皆さんの一助となれますよう自分自身も成長していきたいと思っています。



草 刈 慎 祐

総務常任委員会
広域行政等特別委員会副委員長

皆様からの負託を頂き市議会議員としての活動も早いもので2期6年目の活動をさせて頂いております。1年目より2年目と経験を重ねさせて頂く中で、地域の方々から声をかけて頂く機会も増え、多岐に渡る貴重なご意見やご要望をお伺いする事が叶う様になり活動の糧とさせて頂いております。近年、木更津市は全国で稀にみる人口増加や市税収入の増加となっております。一方で子育て環境では保育所の待機児童や学校区域の編成、また社会資本の老朽化に伴う再整備や再編成と、20年30年後を見据えた取り組みを示している中、子育てや次世代への負担軽減の為に何が出来るのかと思考しつつ活動させて頂いております。一朝一夕に解決しがたい様々な問題がありますが、引き続き子育て責任世代の議員として責任を持って活動をしていきます。



永 原 利 浩

建設経済常任委員会・基地対策特別委員会
議会広報委員会委員長

皆さま元気にお過ごしでしょうか。2期目6年目を迎え、議会だより発行の広報委員会委員長としては、質問内容のみならず、議会の仕組みを分かり易くお伝えしたいと考えています。昨年は議案に対する各議員の賛否の公開も達成できました。基地対策特別委員会委員としては、本市におけるオスプレイの整備拠点化に際し、容認派という立場で発言をしています。整備拠点化が国の政策である以上、大きく変更はし難いことから委員である私は、市民のより安全な生活確保のため、運用の約束を取り付けること(協定書の締結)や負担の増す地域への対策を提案、要求していく方が現実的であると考えています。皆様も私もそして本市も、「健康にそして健康的に暮らせる街」を目指し、皆さまの知恵や知識を拝借しながら、今年も一緒に突っ走りたいと考えています。



近 藤 忍

総務常任委員会委員長・議会運営委員会
基地対策特別委員会委員長

3期目の議員となっておよそ2年が経過します。振り返ると総務常任委員長として行政改革の推進に助力し、予算・決算の特別委員長としては審査の進行方法の見直しにより議論の充実を図り、基地対策特別委員長としては木更津駐屯地がオスプレイの定期整備拠点に指定される中での諸調整や国に対する要望を行って参りました。今後は特別委員会の委員として議会基本条例を策定していく中で木更津市議会がどうあるべきか議論を進め、議会運営委員会の中では活性化を模索していきたいと思っています。また私事ですが、昨年の4月に父親となりました。我が子が育っていく、この木更津市が学びやすく過ごしやすい街にしていくことは親として、そして議員としての責任だと考え、今までにも増して研鑽を積んで活動していこうと思っています。



会派副代表

平 野 卓 義

教育民生常任委員会
地方創生特別委員会副委員長

私は、レインボープラン(7つのマニフェスト)のうち、本年は、「江川総合運動場の早急な整備及び拡張」、「子育て支援の充実」に特に力を入れてまいります。江川総合運動場内の陸上競技場(400Mタータントラック)は、12月議会において、市より、平成31年度供用開始を目指すという回答を得ることができました。これで、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致に向けた取り組みを加速させることができます。実現すれば、他のレインボープランである、「木更津駅周辺の活性化」、「市民の皆様の運動意欲の向上」、「健康寿命の延伸」等々につながるものと期待しております。「子育て支援の充実」では、待機児童の解消はもちろんのこと、子育てに悩む保護者の皆様の支援に一つの場所で総合的に当たる機関として、(仮称)子ども成長支援センターの早期開設に向け、精一杯努力してまいります。市民の皆様の一層のご支援をお願いいたします。



会派代表

斉 藤 高 根

建設経済常任委員会委員長・議会運営委員会
広域行政等特別委員会

会派羅針盤を率いて早6年。皆様には大変お世話になりました。いかに木更津市議会を活性化できるかを常に考え取り組んできました。それまでは議員数28名でありましたので4つの常任委員会が存在しました。それを24名の議員数になったとき3常任委員会に改編しました。私は国立木更津工業高等専門学校を卒業して土木を専攻し市役所の下水道課勤務という経歴があります。したがって建設には多少の知見がありました。そして経済部門においては農業漁業を営んでいてこれこそ私のための委員会なのかと思いました。そしてそれも2年間勤めさせていただこうとしております。たとえば議員発議もしました。議員は発議できる権利を有しています。議決だけではありません。これからも一歩進んだ議会を目指して議会活動そして会派羅針盤をどのように掌握してゆくのかを考えてゆきたいと思っています。